

やひこ 豊かな弥彦村を創る会

(小林とよひこ後援会だより)

第34号 平成31年4月7日(日)



武田芳久後援会長より

皆さま、未だ寒い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか、先の村長選挙では皆様の大きな力で再選を果すことが出来ました、本当に有り難うございました、村長からは思い通りに行かない1期目が終了し、これからの2期目が本当の意味での村の立て直しを実行に移すべく力を発揮してほしいと願っております。

引き続き村議会議員選挙で今までご協力願った議員さんに加えて新人候補2名から名乗りを上げて頂きました、古川七郎候補と渡辺富之候補の2名です、何でも反対の今までの体制を少しでも改善すべく後援会として何としても5名の議員さんを送りたいと思っております、議会での多数の重要性を身に染みて感じており、議員選挙は個人戦ですが皆様の

再度のお力をお貸し願いたいと思っております、どうか宜しくお願い申し上げます



1月28日(月) 村長認証式



2月22日 県央ドットコムより

3月定例会 3月20日(水)最終日

競輪外部監査、競輪場改修ともに可決する

本多隆峰氏、本多啓三氏は外部監査の業務委託料、施設整備改修の工事費、設計管理委託料などを削除する修正動議を出す。修正案に対する討論では板倉恵一氏、花井温郎氏の二人が反対討論をした。

採決の結果修正案に賛成は本多隆峰、本多啓三、赤川幸子、小熊正の四氏、反対は板倉恵一、花井温郎、安達丈夫、柏本文男の四氏、可否同数のため武石議長の議長決裁で否決した。田中氏の欠席で可否が逆転した。

競輪外部監査は2年9か月、9回目で可決、
競輪場大改修は半年、3回目で可決された。



来年は
弥彦競輪開設70周年記念の年
寛仁親王牌の誘致に大きく前進

外部監査、大改修ともに
11月以降に本格的に着手する



小林村長、村議選にむけて

平成最後の年度がスタートしました。保育園、小学校、中学校の入学式が続きます。役場、学校も新体制で業務がはじまりました。平成31年度最初の大仕事は4月21日投票の弥彦村村議会議員選挙です。間違いなく選挙が実施されるようです。村長も村議会議員も皆さんの投票で選ばれることが大事な基本であると固く信じています。

議会の全員が与党でも逆に野党の議員さんで占められても困ります。正常な村政運営ができなくなるからです。与党と野党の議員さんが議席をそれぞれ占め、議論を応酬することが本来あるべき姿なのです。かといって、私の村長一期目の議会のように、提案によっては村の事を全く考えず、ただ反対のための反対を繰り返し、村に損害を与えるような議会だけは阻止しなければなりません。今度の村議会議員選挙では会派を組んで村長と一緒に「子ども、孫などの未来の子どもたちに自信を持って渡すことのできる弥彦村建設」のために頑張らろうと名乗りをあげた候補者が5人おられます。

現職の武石雅之議長、柏本文男議員、板倉恵一議員、新たに立候補を表明された古川七郎さん、渡辺富之さんの5人の皆さんです。個人戦の村長選挙は皆さんのお力で勝たせていただきました。団体戦の村議会議員選挙はこの5人の立候補者全員が当選してはじめて勝利となります。ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

弥彦村議選で5議席確保を！ 三條新聞より(抜粋)

3月22日(金)「豊かな弥彦村を創る会」拡大会議を開催

開会のあいさつで武田会長は3月定例会で外部監査などの議案が可決したことにふれて「外部監査などが議決されて、ひとまずホッとしているが、せつかく小林村長も二期目に入って、またこれから否決、否決ではうまくない。何としても過半数を占めたいとやってきてようやく顔ぶれがそろった。一人でも落ちてもらっては困るので、確実に当選させて議会運営がスムーズに行くように持って行きたい」と協力を求めた。

小林村長は、「昔、田中角栄先生が『政治は数だ』と言っていたが、全くその通り。やはり政治は数。村長選は個人戦だったが、村議選は団体戦、団体戦は五人勝たないと負けになる。皆さんの力で五人を当選させてください」と、5議席確保を呼びかけた。

それぞれの候補者が決意表明を述べた。新人の古川氏からは「これから厳しい日本がくるという危機感を持っている。そのためには弥彦村だけはサバイバルできる道筋をつくりたい」。また3月はじめに名乗りをあげた渡辺富之氏は「議会の立場から小林村政をスムーズに進めて行くため、微力であるが小林村政を支えて行きたい」と支持を訴えた。

最後に近山幹事長が「皆さんの力で4月21日には『よかったな』と一緒に祝いできることを願っている」とあいさつをし、会議は40分ほどで終わった。

4月21日(日)の村議選では、後援会として現職の武石、柏木、板倉の3議員に加えて、
新人の古川七郎氏(美山)と渡辺富之氏(弥彦)の5人を応援します。

先の村長選では、6つの公約を掲げました。その公約の実現をめざすためには、議会での
多数派が必要です。今後、議会は「対立」ではなく「協調」へと舵を切り、「村民主役の村政実
現」を目指します。そのためには、5名の皆さんが村議選を勝ち抜き当選をしていただき、
村長と共に新しい弥彦村の村づくりをお願いしたいと考えています。

ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

武石雅之(まさゆき)



平成27年4月統一選挙で皆さまの暖かく、強力なご支
援おかげで、4度目の当選をさせていただき、選挙後の初
議会で議長という大役を拝命することになりました。

しかしながら、2月に新任された村長との連携もなかな
かうまく運ばず、さらに選挙違反による欠員や有力議員の
病氣辞職などが重なり、ことごとく議会を混乱させてしま
いました。

これを正常にするためには、全国の自治体のほぼ半数が
既に取り組んでいる議会基本条例の策定を見習い、活発な
議会に改革することが必要です。

今後の議会の最重要課題として取り組み、住民の皆さま
のご期待にこたえられるよう努力する所存です。

何とぞよろしくお願い致します。

いたくら恵一(けいち)



- 村民みんなで創る、
誰もが住みたい弥彦村！
になるように頑張ります。
- 皆さんと共に頑張ります。

古川七郎(しちろう)



弥彦村を想う熱い心は誰にも負けません！

- 1、「村議議会の刷新」を図るとともに「住民サービスの
向上」のため「自主財源」の確保に全力を尽くしま
す。
- 2、子ども、しょうがい者、高齢者に優しい村へ
助け合い、支え合い、いつまでも安心して住める村づ
くりに取り組みます。
- 3、お互い様活動【ボランティア活動】の推進
気軽に参加できる仕組みづくりに取り組みます。

わたなべ富之(とみゆき)



ふるさと“やひこ”をさらに躍進！

- 1、豊かな弥彦を実現するために財政力を強化します。
- 2、観光と農業の活性化と融合で経済効果の促進。
- 3、弥彦の特産物の開発、育成、販売を促進。
- 4、楽しい街歩きの環境整備で観光面の集客促進。
- 5、子どもたちへの教育環境の更なる整備を！
- 6、道路の除雪力強化と消雪道路の拡張を！

☆ トヨちゃん・ヒコくん コーナーだよ！



トヨちゃん:お年玉からいろいろ使った内容を自分でチェックしてみたのよ

ヒコくん: えらいね、間違いはなかったの

トヨちゃん: うん、何回も計算し、ママからも見てもらったけど一円も狂いなし

ヒコくん: どれどれ、あれっ、このおもちゃはクリスマスプレゼントと同じものだね

トヨちゃん: うん、でもあることを忘れていてまた買ったの

ヒコくん: 無駄遣いだよ、これは

トヨちゃん: でも、残高表と現金も間違いはないし、いいんじゃない

ヒコくん: 計算が合っていないけど、更に僕のパパからのお年玉も入っていないし

トヨちゃん: それは別のことに使おうと思っていたからお小遣い帳に入れなかったのよ

ヒコくん: それではダメだよ、二重帳簿、裏金になっちゃうよ

トヨちゃん: ありがとう、ヒコくんは第三者、外部監査の目で指摘してくれたのね

ヒコくん: 僕が見なかったら、無駄遣いやお金の扱い方を間違ったままだったね

トヨちゃん: 帳簿上だけの安心はダメなのね、村でも同じようなことがないといいね

～『監査委員の仕事は出てきた数字に対して監査する、何で二重数字が出てきたかについての権限はありません』と弥彦村小田代表監査委員が議会で述べた～

